

公益財団法人サカタ財団

第1期事業報告

(2020年2月6日から2020年3月31日まで)

1. 概略

(1) 当財団の2020年3月31日時点の貸借対照表は、以下の通り。

- ・資産の部は、「現金預金」の残高が、期首30,000千円より、7,095千円減少し、22,904千円。
- ・負債の部は、当期に発生した未払報酬等の計上に伴い、未払金111,039円が計上。
- ・正味財産の部は、指定正味財産20,000千円に、一般正味財産2,793千円と合わせて、22,793千円。

(2) 当財団の2019年5月17日から2020年3月31日までの正味財産増減計算書は、以下の通り。

- ・経常収益は、有限会社ティーエム興産からの寄付金10,000千円等により、10,000千円。
 - ・経常費用は、事業費として、給付奨学金4,200千円、選考委員の給与手当50千円等により、4,304千円となり、管理費として、理事、監事等の役員報酬190千円、事務局員の給与280千円、通信費1,142千円、消耗品費402千円等により、2,320千円。
- 通信費、消耗品費は、サーバー契約料、ホームページのコンテンツ制作料、印章、名刺、封筒等の作成料等、財団設立および運営に必要な初期費用が主となる。経常費用合計は、7,207千円。
- ・したがって、当期経常増減額は、2,793千円。

2. 事業報告

当財団は、2019年5月17日に設立され、神奈川県横浜市に事務所を設けました。設立時より、日本のみならず世界における社会的な課題解決に取り組む有為な人財を支援し、「未来にタネをまく人財」の育成に寄与すべく、大学生を対象とした奨学金助成事業に取り組んでおります。

当期においては、2019年7月より、第1期奨学生の募集を開始いたしました。告知期間が短期間であったにもかかわらず、募集定員10名のところ、23名の学生より応募がありました。第1次選考（書類選考）では、16名が合格となり、第2次選考では面接選考を実施いたしました。書類選考及び面接選考の結果を踏まえ、当財団の選考委員会における審議結果、第1期奨学生10名が決定され、2019年7月より給付奨学金の支給が開始されました。なお、2020年3月より、第2期生の募集告知活動が開始され、多くの大学関係者、大学生の皆さまからお問い合わせをいただき、第2期奨学生の応募者数は、第1期奨学生の応募数を上回る69名となりました。

また、当財団は、設立当初より、一般財団法人から公益財団法人への移行に向け、準備を進めてまいりました。2019年10月2日に内閣府公益認定等委員会へ申請し、同委員会での審議の結果、2020年2月6日に内閣総理大臣から認定書を受領いたしました。名誉ある公益法人として、社会や国民の皆さまのお役に立てるよう、いっそう邁進してまいります。